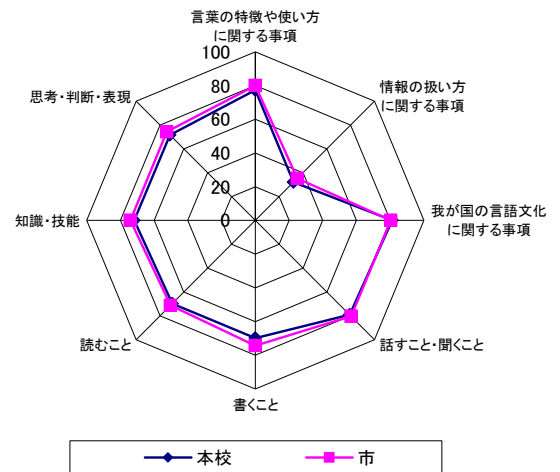


# 宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.3	80.0	76.5
	情報の扱い方に関する事項	32.1	35.2	29.3
	我が国の言語文化に関する事項	81.2	80.4	63.1
	話すこと・聞くこと	79.2	80.4	77.7
	書くこと	69.8	74.3	62.9
	読むこと	69.7	71.2	65.8
観点別	知識・技能	71.8	74.1	68.4
	思考・判断・表現	71.6	74.3	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均より2.7ポイント下回った。 ●「漢字を読む」問題で、第3学年までに学習した漢字を正しく読んでいるか問う設問では、正答率が市の平均より6.9ポイントと大きく下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の学習について、漢字テストを週一回行い、漢字の練習を習慣づけて行えるように促す。また、3年生までの既習内容を復習する漢字テストも定期的に行い、知識の定着を図る。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、市の平均より3.1ポイント下回った。 ●「情報と情報の関係について理解し、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している」という内容の設問では、正答率が市の平均より6ポイント下回った。	・自分の伝えたい内容を文章にはっきりと表せるよう、まず文章の構成をメモで組み立てて、次に段落や接続詞を効果的に使用して文章を書く、というように、段階的に文章を書く練習ができるよう授業展開を工夫する。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均より0.8ポイント上回った。 ○「文法・語句に関する事項」において、歴史的仮名遣いについて理解しているかを問う設問では、正答率が市の平均より3.9ポイント上回った。 ●「文法・語句に関する事項」において、現代語訳を手掛かりに古典を読んでいるかを問う設問では、正答率が市の平均よりも2.4ポイント下回った。	・古典の学習について、歴史的仮名遣いの知識が正しく備わっているか、定期的にミニテストを行って確認する。また、古典作品への興味・関心を促すよう、授業展開を工夫する。 ・文法事項について、生徒が既習事項を理解できているか確かめるために、定期的にミニテストを授業の中で行う。そのうえで、生徒が苦手としている内容を把握し、課題として重点的に指導していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均より1.2ポイント下回った。 ○「話し合いの内容を聞き取る」問題で、自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話しているという観点においては、正答率が市の平均よりも0.3ポイント上回った。 ●「話し合いの内容を聞き取る」問題で、進行の仕方を工夫して話し合っているという観点においては、正答率が市の平均より1.9ポイント下回った。	・聞き取りテストの実施回数を増やし、メモを取りながら重要な部分やおおまかな内容が正確にとらえられる力を養うよう工夫する。 ・聞き取った内容をもとにして、自分の考えを述べる力ができるよう、授業の中や日常生活の中でもメモを取って内容を聞き取る習慣がつくよう声かけを行う。
書くこと	平均正答率は、市の平均より4.5ポイント下回った。 ●「自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している」という設問では、正答率が市の平均より7.1ポイント下回った。	・根拠を明らかにして文章を書く力を養うため、文章の構成をしっかりと組み立てて、段落や接続詞を効果的に使用できる力が段階的に育めるよう授業展開を工夫する。 ・書いた文章を仲間同士で確認し合ったり、評価し合ったりする時間を設け、論の展開や語句の正誤性を確かめられるようにする。また、様々な視点から互いの文章を読むことで、より説得力のある文章を書く力が養えるよう促す。
読むこと	平均正答率は、市の平均より1.5ポイント下回った。 ○「文学的な文章の内容を読み取る」問題で、物語の展開の仕方を捉えているかを問う設問では、正答率が市の平均よりも0.5ポイント上回った。 ●「文学的な文章の内容を読み取る」問題で、情報と情報との関係について理解し、論理の展開の仕方を捉えているかを問う設問において、正答率が市の平均より0.2ポイント下回った。	・文章の展開に即して内容を読み取ることができる力を養うため、文章を要約する作業を授業の中で行う。また、要約した文章を仲間同士で読み合う時間を設け、どの生徒にも要点を把握して読む力が育めるよう工夫をする。 ・文学的な文章では、情景描写に着目して文章を読む習慣がつくよう、授業内で支援をする。また、説明的な文章では、接続表現に着目して読み進めるよう、授業内でその都度注意を促す。